

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会鹿本支部

青枯病対策の検証

鹿本地域では、ナスやミニトマトにおいて青枯病の発生事例が続いており、その対策が求められています。

そこで、近年求められている環境に配慮した持続可能な農業に対応した土壌消毒法を検討するため、令和3年産のナス促成栽培において、低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒の実証展示ほを設置し効果検証を行っています。

前年度多発圃場において、栽培終了後、残渣を圃場外へ持ち出してもらい、処理を行いました。処理当日には、近隣のナス生産者にも参加してもらい、低濃度エタノール土壌還元消毒について研修会を行い、今後の普及推進に向けた取り組みも行いました。

処理開始から、天候にも恵まれ地温も確保できたことから、約1か月の処理後、ジピリジル反応による土壌還元状態の調査を行い、還元効果を確認しています。

令和3年産の定植も終わりましたので、今後も青枯病の発生を継続して調査し、効果判定を行っていきます。

